

2016年7月7日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

乾癬および乾癬性関節炎患者へのご支援のお願い

乾癬は慢性炎症性の非伝染性疾患で、苦痛や見た目の悪さだけでなく、心血管系疾患や糖尿病などの重篤な併存症のリスクが高く、更に、患者の生活の質（QoL）に重大な悪影響を及ぼす疾患です。日本人における有病率は約0.4%と推計されています¹⁾。また、乾癬患者の約3%は乾癬性関節炎を発症し²⁾、重症化すると関節の非可逆的な変形による機能障害を来し、生活や就労に大きな支障となります。

2014年5月の第67回世界保健総会で乾癬に関する決議（WHA67.9）が採択され、WHO加盟国に対し、特に毎年10月29日（世界乾癬デー）に行われている活動を通じて乾癬という疾患に関する認知の向上と乾癬患者が受けている偏見との戦いを支援する更なる取り組みを奨励しました。更に、WHO事務局長に対しては、全世界規模の発症率と有病率を含む乾癬に関する報告書の公表を要請し、2016年2月に『Global report on PSORIASIS』が公表されました。

このレポートでは政府・行政に対して「早期診断および適切な治療は関節の非可逆的な変形および障害を予防する絶好の機会」であり、「生物学的製剤療法に対してはこれらの治療費を下げるためにより多くのことがなされるべきである」とし、また、「社会がこの疾患のある人々が直面している疎外および差別の原因となっている。この状況は一般の人々の間での乾癬の認知を向上させるキャンペーンによって変えることができる」とし、国も乾癬に対するスティグマや差別を減らすことにおいて主要な役割を担っていると述べられています。更に「政府はまた乾癬研究をサポートすることにおいても役割を担っている」とされています。

そこで日本乾癬患者連合会は乾癬および乾癬性関節炎患者にとってのよりよい世界を実現するために以下のことを要請いたします。

- 患者の経済的負担を軽減するため乾癬性関節炎を指定難病とする。
- 日本での乾癬認知度向上のため毎年10月29日に行われている世界乾癬デーのキャンペーンを支援する。
- 乾癬に関する疫学研究など日本での乾癬研究を更に奨励・推進させる。

参考文献

- ・ SIXTY-SEVENTH WORLD HEALTH ASSEMBLY WHA67.9（英語／日本語）
- ・ Global report on PSORIASIS（英語／日本語）

引用文献

- 1) Kubota K, et al. BMJ Open 2015; 5: 1-9
- 2) Takahashi H, et al. Journal of Dermatology 2011; 38: 1125-1129

日本乾癬患者連合会
会長 柴崎 弘之